財団法人 協調会

を罷業団幹部に申込んだ、罷業団幹部は之を快く
承諾したといふ。
目下同館には毎日百七八十名の女工が集つて、編物などをしてゐる。

会社の態度

此回の罷業に際し会社側は甚だ強硬なる態度を
持してゐるが、此の真意は恐らく会社が此の機を利用して
組合を倒さうとするにあるものゝ如く観られてゐる。其異して会
社としては、会社の重要幹部に若干の社員が、機密を
知る中を利用して、団結の力からで会社を圧迫せんと
する態度を許しがたしといふのであらう。
社員の団体たる蒐盟会が成立したのは本年二月である

が、従来会社は此勢力を恐れてゐたらしく、女子
社員を以て之に代へ、出来得る限り社員の勢力を減殺
せんと図つて（社員所謂罷業団の主張）来た。然し、自衛
策とも、言ひ得るのが此の態度の罷業の一の理由であるが、
従て会社は先手を打つか両者にのよりと
むしろ、其団体の幹部を排斥せんとするものゝ如
くである。
目下のところ、月給社員の俸給も容れず、対立のまゝ
悪化する状態にあるが、若し此の状勢が永続すると
せば、会社は近しの中に職工社員を合して一千余名
の職員を罷免するであらう。而して又社員は其組織たる
蒐盟会の大部分を容れるのではあるまいか、此れ会社

財団法人 協調会